

議会報告

6月定例議会

発行者：市議会議員

渡辺 秀雄

荒井字三本松21

☎ 33-5841 Fax 33-5851

Email : info@hideo-watanabe.com

URL : http://hideo-watanabe.com/

国民健康保険税条例の一部改正に反対

今議会は、放射能除染に関する諸課題が論じられた議会でしたが、以前は6月議会というと、国民健康保険税の税率などを決める議案が主体となる議会でした。医療費等の推移により、一人あたり税額の伸びを5%以内に抑えるため、一般会計より5,500万円を追加投入して税率を算定したという説明がありました。

算定の方法が年度毎に違っていて、私の計算では追加投入がもう少し少なくても、伸び率を5%以内に抑えることができたはずですが、結果として所得の多い世帯において、前年度より税額が少なくなる世帯が出ています。改正内容には賛成できず反対しました。(結果は、賛成多数で可決されました。)

この問題は今後一般質問等で、詳しく質していきたいと思っております。

6月補正予算

一般会計は、19億6,077.9万円増の149億7,900.9万円となりました。

『主な事業等の予算』

- ・集会所災害復旧補助(青田・箱) 8,000千円
- ・コミュニティセンター建設費助成(みずきが丘) 15,000千円
- ・保育所除染業務委託料 16,081千円
- ・地球温暖化対策費 210,617千円
(公共施設7か所太陽光発電システム設置)
- ・住宅除染等業務委託料(和田・長屋地区) 1,505,936千円
- ・線量低減活動支援事業補助 25,000千円
- ・水田農業構造改革対策事業補助 14,602千円
- ・農地除染業務委託料 102,063千円
- ・米全袋調査支援事業補助 76,400千円
- ・農産物等放射性物質検査事業 13,888千円
- ・公園等除染業務委託料 47,570千円
- ・教育施設除染業務委託料 94,541千円
- ・まゆみ小遮光工事 5,179千円
- ・伊藤久男モニュメント建立補助 1,650千円
- ・国保特別会計繰出金(税調整分) 55,000千円
- ・仮置場設置関連業務委託料 20,000千円

条例改正

・「市職員の給与に関する条例の一部改正」

7月から市職員の自動車等利用通勤者の通勤手当の上限額を1,900円引き上げ、47,700円となります。(県職員と同様)

・「国民健康保険税条例の一部改正」

24年度課税に係る税率の改正で、1人あたりの税額が前年度より4.65%(4,456円)引き上げとなります。

1人あたり税額の比較		23年度	24年度	(単位:円)	
				伸び率	
医療給付費分	税率	所得割	6.36%	4.43%	69.7%
		資産割	11.00%	11.00%	100.0%
		均等割	18,500	15,300	82.7%
		平等割	21,300	15,700	73.7%
1人あたり税額		50,567	41,545	82.2%	
後期高齢者支援金分	税率	所得割	3.05%	4.05%	132.8%
		均等割	7,800	10,700	137.2%
		平等割	6,500	8,800	135.4%
		1人あたり税額	20,953	27,200	129.8%
介護納付金分	税率	所得割	2.74%	2.95%	107.7%
		均等割	9,100	13,000	142.9%
		平等割	6,600	8,700	132.8%
		1人あたり税額	24,219	31,450	129.9%
国民健康保険税	1人あたり税額計	95,739	100,195	104.7%	

◎次の方々の人権擁護委員推薦が同意されました。

菅野 純紘さん(仁井田)

小野進さんの後任

根本 幸子さん(和田)

活動充実のため増員

◎次の方の監査委員選任が同意されました。

安田 秀一さん(本宮)

渡邊弘一さんの後任



私の一般質問**放射能汚染対策について****24年産米検査実施体制は**

年初め早々、市内全域での米の作付け方針を打ち出したが、生産が見込まれる約28～29万袋の検査。誰が何所でどのようにして行うのか。

【答弁】 地域農業再生協議会が実施主体となって、単独で1台を追加4台で行う。場所、手法については検討中。出荷の地域抑制を避けるため最善を尽くす。

除染による汚染物の仮置きは

住宅除染による汚染物の仮置き場所の決定はどこで。市の施設の仮置き場の点検体制は。

【答弁】 汚染物の仮置き場は市で設置する考え。点検体制は、定期的に線量を測定するなど確認している。

食物検査機器の稼働状況は

今年度5/11までの検査件数が671件ということだが、新たに荒井公民館にも検査所ができる。自家栽培、自家消費の農産物以外でも検査できるようにすべきでは。また、検査結果の公表を小字単位にできないか。

【答弁】 検査品目の拡大を図る。(補正予算審議の中で答弁) 小字単位の公表は、範囲が小さいところあり混乱を招く恐れがある。

測定値の変化は

市内13箇所の空間放射線量の数値について、市民から疑問の声があるが、測定器で違いはないのか。今後の住宅除染計画の見直しの参考にするのか。

【答弁】 文科省の設置した機器による数値で、設置場所による差異はあると認識している。住宅除染は計画どおり進めたい。

産業の再生について**具体的な取り組みは**

本市は「へそ」という表現こそしなかったが、交通の要所に位置することから、いろんな施策の展開をしてきた。目新しい施策が感じられないが。

【答弁】 経済、金融的支援のほか、企業に必要な情報の提供を行ってきた。

企業立地支援の強化策は

ふくしま産業復興企業立地支援事業の採択状況は。また、ふくしま産業復興投資促進特区に本市の14地区が対象になったが、効果は期待できるのか。条件整備を急ぐ必要があると思うが。

【答弁】 採択状況は13件に対して6件で新規雇用が128名

計画されている。土地利用計画等の策定を進めていく。

農家の生産意欲を高める策は

風評被害も相まって作っても売れず、生産意欲が湧かない現状を脱するため、どのような施策を考えているのか。

【答弁】 生産された農作物の安全を確保することが大切。検査機器の充実を図り、風評被害の払しょくに努める。

教育環境の充実について**第二中学校の環境整備は**

来年8月からは新しい校舎等で授業ができるが、校庭の狭さなど以前からの課題は解消されない。全体を見極め早急に整備を進めるべきでないか。また、二中建設の追加助成を復興交付金の第2回配分で申請しダメだったがその経緯は。

【答弁】 検討していきたい。今回の交付金について10項目ほど検討したが、被害等の面的要素があり大事業の二中復旧建設事業にしたが外れた。

懸案事項は

○耐震化実施計画の見直しは。

【答弁】 21年度策定したが財政計画もあり検討中。

○通学路の除染が進まない現状にあって、通園通学バス運行の必要性を感じるが、本宮地区における意向調査等の結果は。

【答弁】 二中学区対象に実施1922人83.8%の回答を得た。幼稚園98%、小学校12%、中学校25%とそれぞれ希望があった。対応については今後検討していきたい。

○まゆみ小オープンスペースの間仕切り等の検討は。

【答弁】 検討委員選定の段階である。

社会体育施設の利用状況は

一般市民の施設の利用が制限され問題となっている事案があるのか。

【答弁】 学校施設が使えないことで迷惑をかけているが、連絡調整を密にして対処していきたい。

あとがき

議会審議を経験してきて、議員1人の力には限りがあり、市民の声が市政にどのくらい反映されているのか、疑問を感じる時があります。市長と対峙できるような施策を作成し、論じることができるよう議会ではなければならないと感じております。

早や今年も半年がすぎました。1年の過ぎるのがとても早く感じます。米の収穫において、基準値を超える米がでないことを、願わずにはられません。